

6. 平成17年度自主防災組織リーダー研修会（宮崎県・北海道）

平成17年度自主防災組織リーダー研修会研修報告書

宮崎県

自主防災組織リーダー研修会の結果概要について

財団法人日本防火協会との共催により、自主防災組織の活性化や組織づくりを積極的に推進できる人材を養成するため、上記研修会を開催しましたので、その概要を次のとおり報告します。

1 目的

本県は、地理的な特性から台風や豪雨等による自然災害が発生しやすい地域であり、先の台風第14号でも大きな被害を受けたところです。

さらに日向灘地震や小林・えびの地震に加えて今世紀前半の発生が懸念されている東南海・南海地震に対する防災対策が重要な課題となっています。

これらの災害の被害をできるだけ小さくするためには、地域の防災力を高めておくことが重要であるとされています。

地域防災力向上の要となるのは、住民の自発的な組織である自主防災組織であり、自主防災組織の活性化には、リーダーの資質と熱意に負うところが大きいとされています。

そこで大規模災害発生時に自主防災組織が的確・迅速に機能するよう、県内の自主防災組織リーダー等に高度の知識や技能を習得していただくとともに、その役割の自覚を高め、その地域における自主防災組織活性化のために活躍できる人材と組織づくりを積極的に推進できる人材育成を図ることを目的とします。

2 実施場所

宮崎県消防学校（宮崎市大字郡司分210番地）

3 日程

平成17年10月20日午前10時から

平成17年10月21日午後3時30分まで

4 参加者

宮崎県内の自主防災組織
関係者等52名



（財）日本防火協会
小林弘明常務理事による開講挨拶

5 研修結果の概要

（1）災害図上訓練（DIG）：10月20日午前10時30分～午後6時

富士常葉大学環境防災学部の小村隆史助教授から「災害図上訓練（DIG）の進め方」の講演をいただくとともに「災害図上訓練の実施」として参加者を5班に分け、宮崎市大字熊野島山地区において地震と豪雨の災害が発生した場合を想定し、小村助教授から具体的な方法について説明をいただきながら、宮崎大学工学部の原田隆典教授、宮崎地方気象台の横山太防災気象官、同気象台の米満俊郎主任技術専門官のコメントをいただき、より現実に即した訓練を実施しました。





地図への書き込み



グループ検討成果発表

(2) 防災夜なべ談義(クロスロードゲーム)：20日午後7時～午後9時

文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト(林春男研究グループ)により 開発されたクロスロードゲームを参加者を6班に分け、難問にそれぞれの立場で意見交換を行いました。

中には意見が白熱して、10分以上意見を戦わせる班もありました。

行政職員・消防職員班では、実務と直結した専門的な意見交換が行われました。

金色座布団獲得者と青色座布団最多獲得者には、豪華な商品(非常食)が贈呈されました。

(3) 非常招集訓練：21日午前5時46分～午前6時30分

参加者には、事前に通知せず、非常招集訓練を実施しました。

寝静まった消防学校学生寮に無情な「地震が発生しました。大津波警報が出ましたので至急、避難してください。」という伝達が響き、参加者は眠い目をこすりながら、指定避難場所の体育館へ移動しました。

津波到達予測時刻である午前6時まで全員避難が完了しました。

その後、招集訓練開始時間の意味(阪神・淡路大震災の発災時刻)や防災ひとくち講話を行いました。

(4) 講義研修(自主防災組織)：21日午前8時30分～午前9時50分

宮崎県危機管理室近藤悟防災対策担当リーダーが「自主防災組織の活性化について」と題して、台風第14号の被害や対応状況を踏まえたうえで、自主防災組織のあり方、活性化について講義を行いました。



(5) 講義研修(気象情報)：21日午前10時～午前12時

宮崎地方気象台の横山太防災気象官と米満俊郎主任技術専門官が「気象情報について～風水害と地震関係～」と題して、具体的な事例をあげて、詳しく解説しました。

参加者からも気象に関する質問が相次ぎ気象の専門家から懇切丁寧な回答に満足していました。



(6) 実技研修(救護・救急手当て)：21日午後1時～午後2時30分

最後の研修となった救護・救急手当ての実技研修では、消防学校の廣瀬利博教官、上村等教官、立野一広教官の指導で「三





角巾の使用方法」「心肺蘇生法」「AEDの取扱い」等について実技研修を行いました。参加者は、真剣に取り組んでいました。

研修1日目 10月20日(木)

時間	所要時間	項目	内容(講師等)	場所
09:30 ~10:00	30	参加者受付		
10:00 ~10:15	15	開講式	主催者あいさつ (財)日本防火協会 小林弘明常務理事 宮崎県危機管理局 楠元幸寛危機管理室長	視聴覚教室
10:15 ~10:30	15	オリエンテーション	消防学校施設案内(消防学校職員) スケジュール説明(危機管理室員)	視聴覚教室
10:30 ~12:00	90	図上訓練(DIG) 訓練の進め方	講師:富士常葉大学環境防災学部 助教授 小村 隆史 氏 コメンター:宮崎大学工学部 教授 原田 隆典 氏 コメンター:宮崎地方気象台 防災気象官 横山 太 氏 主任技術専門官 米満 俊郎 氏	講 堂
12:00 ~13:00	60	昼食、休憩	居室への荷物搬入(部屋割参照)	ひむか寮
13:00 ~16:00	180	図上訓練(DIG) 実践訓練	進行管理:小村助教授 コメンター:原田教授 コメンター:宮崎地方気象台 横山氏 米満氏 アシスタント:危機管理室員	講 堂
16:00 ~17:30	90	図上訓練(DIG) 結果発表・講評	図上訓練の結果発表、結果報告へのコメント	講 堂
17:30 ~19:00	90	入浴・夕食		ひむか寮
19:00 ~21:00	120	防災夜なべ談義 (クロスロード)	進行:危機管理室員	体育館
21:00 ~22:00	60	自由時間		体育館 その他
22:00 ~22:30	30	就寝準備		ひむか寮
22:30		就寝(消灯)		ひむか寮

研修2日目 10月21日(金)

時間	所要時間	項目	内容(講師等)	場所
05:46		非常招集訓練		
06:30		起床		ひむか寮

06:30 ～07:20	30	日朝点呼・清掃	洗面等を済ませ、指定場所で日朝点呼 軽い体操後に清掃	点検場
07:20 ～08:00	40	朝食等		ひむか寮
08:00 ～08:30	30	身辺整理 研修準備		ひむか寮
08:30 ～09:50	80	講義研修	自主防災組織の活性化について 危機管理室近藤悟防災対策担当リーダー	視聴覚教室
09:50 ～10:00	10	休憩		
10:00 ～12:00	120	講義研修	気象情報について（風水害と地震関係） 講師：宮崎地方気象台 風水害／防災気象官 横山 太 氏 地震／主任技術 専門官 米満 俊郎 氏	視聴覚教室
12:00 ～13:00	60	昼食、休憩		食堂、居室
13:00 ～14:20	80	実技研修	救護・救急手当て 講師：県消防学校教官	体育館
14:20 ～14:30	10	休憩		
14:30 ～15:00	30	意見交換会	参加者の意見交換	視聴覚教室
15:00 ～15:30	30	閉講式	閉講挨拶 宮崎県危機管理局 宮永博美局長 (財)日本防火協会 水村課長補佐 修了証の授与等 受講者代表謝辞	視聴覚教室
15:30 ～16:00	30	居室整理	終了後解散	

※この表は、研修終了後に修正したもので、非常招集訓練については、事前の通知なしで実施。

[▲ このページの上に戻る](#)

北海道

北海道では、(財)日本防火協会との共催により、10月27日(木)・28日(金)の2日間(1泊2日)にわたり、音更町笹井ホテルにおいて、『自主防災組織リーダー研修会』を開催しました。



この研修会は、自主防災組織の指導的立場にある方を対象とし、その地域における自主防災組織活性化のための組織づくりを積極的に推進できる人材の養成を目的として開催いたしました。



研修のカリキュラムは、1日目に「講義」、「グループ討議」、2日目に「講義」と「図上演習（D I G）」を行いました。

1日目の講義では、始めに『気象と災害について』と題して釧路地方気象台田村次長より、気象台から発表される防災情報について『災害からあなたを守る防災情報』等のお話をいただきました。

次に、『防災と防犯について』と題して北海道警察釧路方面本部奥村災害担当統括官より、昨今話題になっております、防犯と防災の協力による「地域の安心安全なまちづくり」等について、災害時での体験談を交えてお話いただきました。

次に、『土砂災害防止法に基づく区域指定について』と題して帯広土木現業所鶴田防災係長より「土砂災害の形態」や「土砂災害の事例」等についてお話をいただきました。



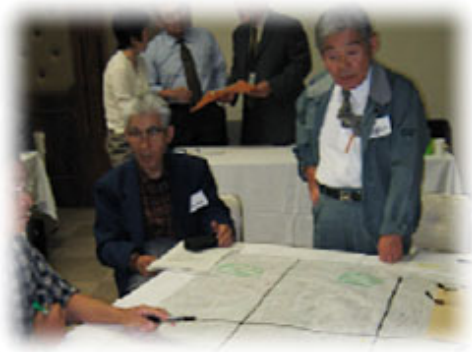
1日目の最後として『大規模災害に備えて』と題し、「地域の防災意識を高めるためには」・「地域における防災対策」・「自主防災活動のあり方」の三つのテーマにより、各グループにおいて活発な討議を行いました。

討議では様々な意見があることや、組織設置者と未設置者での考え方の相違や同じ悩み等を抱えていることがわかりました。

2日目は、始めに『自主防災組織の現状と課題』と題して北海道総務部危機対策室防災消防課地紙主幹より、道内の自主防災組織の現状や各家庭・地域での簡単に出来る備蓄方法等について説明しました。

次に、『図上演習（D I G）』について、北海道教育大学函館校佐々木助教授より、午前中に講義をいただき、午後より実際に地図上に様々な情報（想定）を書き込み、その情報(想定)に対する対応方法等についてグループ内で検討しました。

この2日間の研修会で習得された知識や技能は、参加された方たちによって、その地域における自主防災組織活性化のために活躍できる人材の育成と組織づくりに大きな力になるものと思います。



【1日目】 27日(木)

時間		内容等	講師等
10:00 ~	15分	開講式	
10:15 ~10:45	30分	オリエンテーション	
10:45 ~11:45	30分	講義 『気象と災害について』	釧路地方気象台 田村 憲次 次長
12:00 ~13:00	60分	昼食	

13:00 ~14:00	60分	講義 『防災と防犯について』	北海道警察釧路方面本部 奥村 耕治 災害担当統括官
14:00 ~14:50	50分	講義 『土砂災害防止法に基づく区域指定について』	帯広土木現業所 鶴田 則夫 防災係長
14:50 ~15:00	10分	休憩	
15:00 ~16:20	80分	グループ討議 『大規模災害に備えて』 ◎討議テーマ (1) 「地域の防災意識を高めるためには」 (2) 「地域における防災対策」 (3) 「自主防災活動のあり方」	
16:20 ~16:30	10分	休憩	
16:30 ~17:30	60分	グループ討議発表	
18:00 ~19:00	60分	夕食	
19:00 ~22:00	180分	自由時間	
22:00		就寝	

【2日目】 28日(金)

時間		内容等	講師等
7:00 ~ 8:00	60分	朝食	
9:00 ~10:00	60分	講義 『自主防災組織の現状と課題』	北海道総務部危機対策室 地紙 昭 防災消防課 主幹
10:00 ~10:10	10分	休憩	
10:10 ~12:00	110分	講義 『図上演習(D I G)』	北海道教育大学函館校 佐々木 貴子 助教授
12:00 ~13:00	60分	昼食	
13:00 ~15:00	120分	図上演習 『図上演習(D I G)』	北海道教育大学函館校 佐々木 貴子 助教授
15:00 ~15:05	5分	休憩	
15:05 ~15:30	25分	閉講式 修了証授与	